

誕生して
1年

元気です!!

前橋プラザ元気21



前橋プラザ元気21が誕生しては
1年がたとうとしています。「前橋の
まちを元気に」という旗印のもと、そ
の後の軌跡をたどってきたので
しょうか。今回は気になるその後と
「いま」取材しました。

問い合わせは
にぎわい観光課 ☎210-2188



大盛況だった吹奏楽演奏(にぎわいホール)



前橋プラザ元気21誕生物語

平成16年1月にリヴィン前橋店が閉店し空き店舗になりました。その活用について、民間と行政が協力してまちの活性化につながる施設をつくらうと昨年12月にオープンしました。市内にあった特徴ある施設を同じ場所にまとめ、より便利で利用しやすくなりました。老朽化の進んでいた中央公民館は、設備の充実も図られ、利用者の層が広がりにぎわっています。

「元気21」には、スーパーマーケットやコーヒードなどの商業施設や専門学校のほか、地元Jリーグサッカーチームのオフィシャルショップなども。また、こども図書館、親子で遊べるプレイルーム、中央公民館などがあり、生涯学習の拠点にもなっています。

学ぶこともできれば、遊ぶこともできる。ちょっとした休憩もでき、同じ趣味を持った人と触れ合うこともできます。利用者の数だけ、利用の仕方もさまざまです。複合施設の機能を備えた、これからの前橋の「新しい顔」としての活躍が期待されます。

多くの人が交流

前橋プラザ元気21にはいろいろな施設があるので、利用する人も目的に応じて楽しめます。今年の9月末までの利用者は100万人を超えたそうです。幼児からお年寄りまで、幅広い層に「元気21」は愛されています。週末や祝日を中心にイベントも行われています。先日の前橋まつり吹奏楽演奏もこの施設で行われ、大盛況

でした。

プレイルームで楽しく遊んだ後に親子でこども図書館へ、中央公民館で活動した後にコーヒープレイク、そしてスーパーでお買い物、市民活動支援センターで調べものをしてからホワイエやテラスで仲間と語り合うなど、活用の仕方は人それぞれです。時にはお年寄りや若者が交流する姿も見られます。世代を超えて人と人との輪をつくり、新しく懐かしいコミュニティを創造する場所であると感じました。

中心商店街とのつながり

「元気21」ができてから、変化したことがあります。それは商店街の通行量が増えたことです。「元気21」を利用する人が少しずつではありますが、商店街まで足を伸ばしています。これは前平成18年の通行量調査と比べても確認できます。

「都心回帰」もう一度は始める都市の生活」という「元気21」のキャッチフレーズがあります。これは多くの人が安心して暮らせるまち、住み心地のよいまち、歩いて暮らせるまちを今後さらに進めていきたいという願いが込められています。七夕まつり、前橋まつりをはじめとする、いろいろなイベントを通して「思い出のまちづくり」を進めるなかで、「元気21」の果たす役割は、これからますます重要になっていくことでしょう。

これからますます役立つために

名前のとおり元気なまちづくりをさらに進め

- ① 「ちょっと聞いてヨ！」という3階中央公民館事務室前に張り出されている「利用者の声」を参考に、日々担当者はよりよい運営をできるように努力している。
- ② 商店街関係のチラシ・パンフレットを置き、館内利用者に持ち帰ってもらう。まちなかに立地し、中心市街地の活性化を推進するため、商店街などと連携する。
- ③ 自転車で来館する人のために、今後は駐輪場の増設を検討する。
- ④ 利用者や職員がお互い利用しやすくなるよう、マナーを大切にし、声を掛け合う。
- ⑤ 商工会議所などと連携し「まちなかキャンパス事業・産学連携市民向け講座」などを行う。わたしたち市民も、中心市街地のにぎわいを復活させるために「こんな事業やイベントをしたらどうか。施設利用はこんなふうに改善したらどうか」など情報や意見を提供することが必要だと感じています。

編集 後記

何度か前橋プラザ元気21を訪れましたが、時間帯によつて利用者層が異なります。また、階によつても表情が違います。この施設は、多くの市民の皆さんに、これからも活用してもらえよう成長していくことでしょう。わたしも元気をお土産に帰りました。皆さんもぜひ、来館してください。



① 商店街関係のチラシやパンフレットが置かれている(1階)



② IHクッキングヒーターで、安全に楽しく(5階料理実習室) ③ 子どもたちが壁画を描く(こども図書館)



④ 来館者が気持ちよく利用できるよう要望や意見を掲示(3階)